

# 町づくり しろやま

2017. 1  
No. 65

発行

戸坂城山学区  
社会福祉協議会  
戸坂大上1-4-22  
戸坂福祉センター内

## 「地域包括ケアシステムの推進」てなーに？



戸坂城山社会福祉協議会

会長 品田 良

現在、急激な少子高齢化や核家族化、

地域社会のつながりの希薄化等により社会構造が大きく変化してきています。こうした変化に対応するために平成28年2月松井広島市長より「地域福祉の再構築にむけて」広島型・福祉ビジョンが発表されました。これに伴い広島市では「地域包括ケアシステムの推進計画」が作成され、スタートしました。

これが必要とする大きな要因の一つに2025年には団塊の世代がすべて75歳以上になり75歳以上の人口が急増することです。(※ 広島市高齢者の75歳以上人口の将来推計は2015年の123千人から2025年は181千人に増加すると推計されます)

これにより要支援・要介護の認定を受ける高齢者の増加。また認知症高齢者の増加、医療を受ける高齢者の増加により、保険料や税金の負担が増え社会保障費の急増を招き、介護・医療分野の人材不足

も深刻化することが予想されます。

こうした社会構造の変化により、地域住民の参加の下、地域の実情に合わせた「自助」(自分で行う)、「共助」(助け合い)、「公助」(政策・社会保険等)の包括的な支援体制の確立が必要になりました。

地域住民の大多数の方々は安心して住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることが出来るようになっておられます。

住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される、地域包括ケアシステムの構築を実現する必要があるのです。

こうした計画に基づき城山社協では、「高齢者を見守り支え合う地域づくり」を昨年末で城山学区内の全町内で実施することが出来て、75歳以上の見守り対象者、約100名を地域包括支援センターがコ―ドネーターとなりデーターを共有し、

今後、組織的に高齢者の見守り活動を継続的に行ってゆきます。

また、「高齢者の健康づくりと介護予防」については、広島市の助成金制度を利用して、健康体操を2か所(福寿苑と城山集会所)で実施して、高齢者の外出を促し、健康寿命が少しでも延長の一助になればと考え、継続的に実施する予定です。【関連写真4ページ】

そして、将来今後ますます少子高齢化が進むことで、様々な問題が起こりうるかと予測されます。城山社協も本年、福祉計画を見直す予定です。

地域の絆が深まり、明るい、安心して住みよい地域になるよう、お手伝い出来るものから始めてゆこうと考えています。皆様方のご理解と御支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



# 「戸坂の弥生土器」

元広島市文化財担当課長

## 松垣栄次

広島市内では、昭和40年代（1970

年代）後半に太田川下流域では高陽ニユ

ータウンを初めてとして多くの開発が行わ

れた。それまで太田川下流域では、あま

り遺跡が発見されておらず、従って開発

に伴う発掘調査例が少なかった。しかし、

この傾向に変化が生じたのは高陽ニユ

ータウンの開発で、この開発に伴い、それ

まで表面観察による遺跡の確認を、試掘

（実際に開発区域内を掘って確認する作

業）を行い確認するようになった。その

結果、それまで確認されなかった多くの

遺跡が確認されるようになった。

この結果、太田川下流域の古代の様子

が次第に明らかにされ、太田川下流域で

は縄文時代から弥生時代中期に至るまで

の遺跡は少なく、弥生時代後期（今から1,700

～1,800年前）になって急激に増加すること

が分かって来た。このことは、弥生時代

後期になる頃この地域に大きな変化が生

じたためと思われる。それは、この頃に

生活の基盤である食糧（米）がより多く

生産できるようになったためであろう。

言い換えれば、養うことができる人口が

増えたと言つことである。

私たちが住むこの戸坂町でも、これま

でに長尾遺跡、桜ヶ丘古墳、禅昌寺西遺

跡の発掘調査が行われ、戸坂の古代の様

子も、高陽、祇園、安古市、佐東などの

他町域と同様であったことが明らかにさ

れている。すなわち弥生時代後期になっ

て多くの人が住み始めたと考えられてい

る。しかしながら、戸坂と言う区域は、

広島市街地に近いため早くから広島のパ

ットタウンとして開発が行われたため、

多くの遺跡が失われたようである。「戸

坂町誌」に掲載されている古墳等は確認

できないし、昭和40年代頃までに造成さ

れた桜ヶ丘団地、くるめ木団地、城北学

園等の造成時に、土器が出ていたと言っ

ことを聞くことから推定できよう。

今回戸坂新町で大量の弥生土器が発見

された。土器からは、弥生時代後期後半

～古墳時代初頭ではないかと推定され、

谷を挟んだ対岸の長尾遺跡が営まれた時

代とはほぼ同じ頃と思われる。遺跡からは

住居跡等の遺構は確認されなかったが、

斜面の凹地に流出した結果であろうと推

定される。土器は一か所に大量に集中し

て発見されたもので、完形品ないしは

それに近い土器が多く、他の遺跡では

そのように集中した状況は見られず、

若干様子が異なっているようである。

その意味でこれらの土器は戸坂の歴史

のみならず広島市域の歴史の一端を推

定できる歴史的価値の高い資料となる

であろう。【関連写真4ページ】



# 「戸坂城山学区ガードボランティア」

## 団体表彰受賞

代表受賞 向井 英雄



台風接近のため延期された授賞式が11月29日市役所本庁2階講堂に於いて団体19、一般40名がそれぞれ表彰されました。平成17年11月22日木下あいりちゃんが下校途中殺害される痛ましい事件が起きました。これを期に学校、PTA、地域で見守りに協力できる方を募集したところ多くの方より賛同いただくことが出来ました。平成18年1月9日より実施、毎日見守りをしてきましたが朝の見守りは「1日の始まり」と思い今日まで続けることが出来たと思います。

昨年表彰の対象者があれば申請するよう市から要請があり、昨年はあいりちゃん事件から10年、申請しましたが全員の受賞はかないませんでした。

今年は当初よりほぼ毎日続けている11名の方を品田会長と相談しながら申請しました。できれば最高齢者の方には出してほしいと思いましたが団体表彰にさせてほしいと回答がありました。

当学区でも少子高齢化など核家族が、今後ますます多くなつてきます。これまではこれといった取り決めも集まりもなく続けてきましたが、今では皆さん高齢となり声掛けをする人が年々先細つてきました。早急に対策を講じないと衰退して

ゆくのが見えてきています。子供達や高齢者が、安心して住み続けられるよう、皆で今後を考えていきたいものと思います。



## 広島市学区体育団体連合会 功労者表彰受賞



戸坂城山学区体育協会

会長 岡田 稔

皆様 明けましておめでとございます。城山体育協会 岡田でございます。平成28年度広島市学区体育団体連合会より、功労者表彰を授与いたしましたことをご報告申し上げます。

この度の表彰は、私にとつても栄光なことですが、私は特別な事をした訳ではなく、あたり前の事をしただけと思つてお

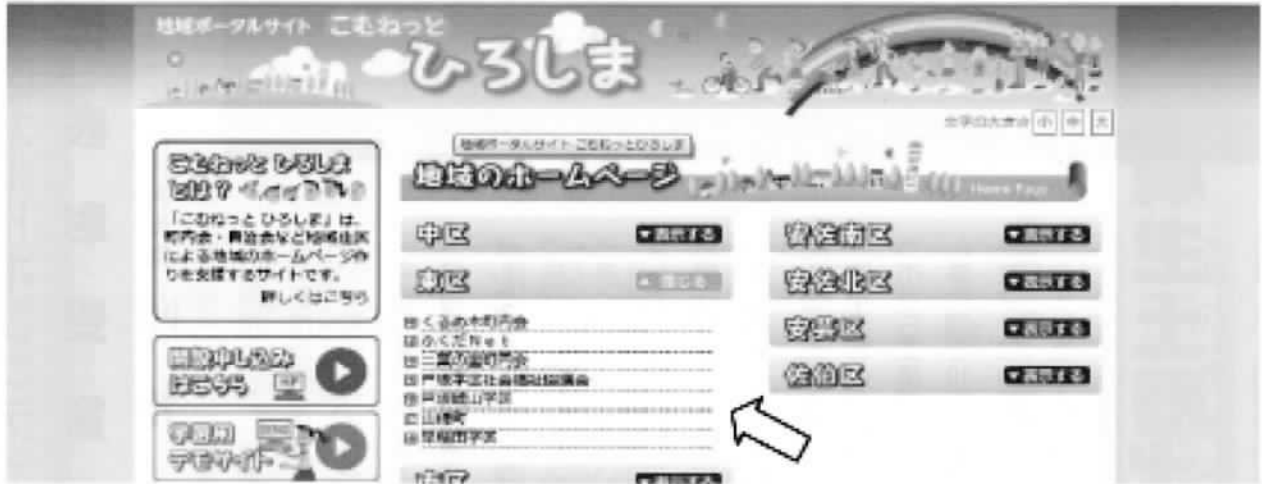
ります。おのずから動かなければ何も動かない、意志あるところに道は開けるといふ言葉を大切にしながら、今後もスポーツの持つ可能性を大切に育みながら、年齢や性別を問わずあらゆる方々が自分らしくスポーツに関わることができ環境づくりに邁進いたします。

学区の皆様をはじめ、各関係機関・団体におかれましては、より一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# みなさんご存知ですか？ 戸坂城山社協のホームページが見れます。

戸坂城山学区の事業内容の他に、戸坂アーカイブス委員会の活動や市からの"お知らせ"も掲載されています。

★「こむねっとひろしま」で検索 → 地域ポータルサイトこむねっとひろしま  
→ 東区 → 戸坂城山学区



これからも、各団体等の協力を得ながら身近な親しみやすいページにしていきたいと考えています。どうぞ、ごらん下さい。



ほぼ発掘



こんな所から出土



壊さないように慎重に

南一	大四	数甲	大上	発掘作業にご協力 頂いた方々 (敬称略)
神岡	永谷	天上	品田	
勝登	正穂	静樹	向井	
		治伸	英雄	
		玉井富美夫	三宅敏夫	
		数田勉	増田浩二	
			品田良	

## 戸坂の弥生土器発掘調査



城山集会所



へさか福寿苑

**健康体操**

皆さん、お気軽にご参加ください。年齢は問いません。

会場  
城山集会所  
へさか福寿苑